

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	街区公園築造事業	所管	道路公園部 みどり公園課
			TEL 2998-9196

事業の目的 (何の為に 行うか)	都市の中に緑とオープンスペースを確保し、環境の保全・レクリエーション・地域コミュニティ及び、防災活動の拠点となる安全な憩いの場としての街区公園を計画的に築造する。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	街区公園の築造計画(工事)箇所	対象とした数	1	箇所
		実際に 利用した数	0	箇所

活動の内容	(何を したか)	市街地に計画的に配置した街区公園を順次築造する。①土地買収や土地区画整理事業地内の公園用地、寄付用地・借地等の方法によって用地を確保する。②当該地区の特性、住民要望を十分に把握し、安全安心の公園を提供する観点から設計を行う。③築造に当たって地元自治会や近隣住民に対し、工事内容、期間等を説明し、理解を得る。										
活動実績	項目名	街区公園築造面積	0	単位	m ²	項目名	街区公園総面積	25.35	単位	ha	項目名	単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	176,973	171,249	290,523	856.9

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率		
	街区公園の整備率	公園整備面積/40.3ha(目標街区公園総面積)	40.3	25.35	62.9		
		単位	ha	単位	ha	単位	%

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 改善・効率化 * 改善余地なし その他 []					
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止					
	予算	現状どおり		* 増額		減額 終了	

今後の 方向性 (二次評価 の意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了						
	総合 評価	拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了					
	予算	* 現状どおり		増額		減額 終了	

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		部課コード	070500	取	2998-9196
事業コード	070501	街区公園築造事業			
開始年度	昭和 61 年度	→	終了年度	平成 年度	
担当部課		道路公園部 みどり公園課			
グループ		公園			

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	緑の基本計画							
	関連・類似事業	公園管理事業							
	都市緑地法、都市公園法、都市計画法								
	総合計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	2節 公園・緑地	中柱	2 公園の整備	小柱	(1)地域の特性を活かした公園の築造
行政改革大綱における行動計画への位置づけ	H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 18 位								
事業開始の背景	都市化が進展する中で街づくりや住環境整備の一環として、身近な緑とオープンスペースを確保し、地域住民のレクリエーション・コミュニティ・防災の拠点となる街区公園を計画的に配置する必要があるため開始された事業である。								

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	都市の中に緑とオープンスペースを確保し、環境の保全・レクリエーション・地域コミュニティ及び、防災活動の拠点となる安全な憩いの場としての街区公園を計画的に築造する。														
	対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方				街区公園の築造(開園)箇所										
	街区公園の築造計画(工事)箇所															
	対象数	単位	平成 18 年度	2	箇所	平成 19 年度	1	箇所	利用数	単位	平成 18 年度	1	箇所	平成 19 年度	0	箇所
	事業の具体的な内容及び実施方法															
市街地に計画的に配置した街区公園を順次築造する。①土地買収や土地区画整理事業地内の公園用地、寄付用地・借地等の方法によって用地を確保する。②当該地区の特性、住民要望を十分に把握し、安全安心の公園を提供する観点から設計を行う。③築造に当たって地元自治会や近隣住民に対し、工事内容、期間等を説明し、理解を得る。																

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input checked="" type="checkbox"/> 二次評価													
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())													
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了													
	平成19年度中に改善した点														
第二上新井10号公園の築造では、長期的な樹木成長を考慮した補栽や地域住民の要望意見を反映して第二期工事を実施した。															

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		195,714	176,973	100,553
	決算(見込み含む)		159,250	171,249	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費	1.18 人	10,856	0.90 人	8,455
	公債費		116,638	110,819	
	事業費合計		286,744	290,523	
	財源内訳	一般財源	270,644	277,023	100,553
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債	16,100	13,500		
	その他				
市民一人当たり(単位:円)			848.6	856.9	
利用数一単位あたり(単位:円)			286,744,000.0	#DIV/0!	

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	街区公園築造面積	街区公園の新規築造面積	m ²	1,300	0	6,300
	成果分析	街区公園総面積	街区公園の総面積	ha	25.35	25.35	25.98
	街区公園の整備率	公園整備面積/40.3ha(目標街区公園総面積)	ha	目標値	40.30	40.30	40.30
			%	実績値	25.35	25.35	実績値の拡大を図る2
			%	達成率	62.9	62.9	実績値の縮小を図る2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	
	明らかなった課題	厳しい財政状況の中、公園の新規築造を進める上で、用地の確保が区画整理事業地内を除いて困難な状況である。今後は、都市公園の整備手法として無償契約借地による用地確保を視野に入れる必要がある。そのためには、用地を提供する地権者の理解と協力が前提であり、税制面や利用・返却時のルールなどを明記した「要綱」等の整備が必要である。		
	平成20年度における目標設定	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
平成21年度における事業の方向性	達成水準(どこまで)			
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())			
予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	公園築造は財政状況を反映して築造費の単年度確保が厳しい状況が続いているが、平成20年度に第二上新井10号公園を開園する。また、本事業予算は、過年度の用地取得に際しての公社買戻しが大半を占めている状況である。こうしたなか、21年度以降も区画整理地内の公園築造計画を進める必要がある。			
評価日	平成20年5月23日	記入者職氏名	道路公園部みどり公園課長 並木 隆	

⑧二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性									
	事前評価	内部優先順位… 12 位									
	評価理由	用地確保が困難現状であると認識しているとともに、無償契約借地の用地確保も視野に入れる課題把握をしていることを評価し、それぞれ「改善効率化」「現状どおり」と評価した。									
	評価日	9月1日									

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り									
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し									
	基本目標										
	主要課題										